各会議等の実施状況報告について	提出日	令和7年7月29日(火)
	担当課	スポーツ・生涯学習課
<p>会議名称 湖西市青少年問題協議会 開催日時 令和7年6月27日(金) 13:30~14:30 開催場所 市民活動センター2階 大会議室 出席者 会長1名、委員13名(うち代理2名)、事務局5名 【計18名】 ※傍聴者なし</p>		
<p>1. 開 会 委嘱状伝達</p> <p>2. あいさつ 会長(市長)</p> <p>3. 会議録署名人選出 会長より2名を指名し、委員により承認</p> <p>4. 副会長選出 事務局より、自治会連合会長を推薦し、委員により承認</p> <p>5. 議 事</p> <p>(1) 令和6年度湖西市青少年問題協議会 活動報告 事務局説明 [質問・意見なし]</p> <p>(2) 令和7年度湖西市青少年問題協議会 活動計画 事務局説明 [質問・意見なし]</p> <p>(3) 各団体の活動状況等</p> <p>【湖西警察署】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年によるインターネット絡みの犯罪が増えている。 ・湖西署管内の刑法犯の認知件数は昨年220件と減少している。 ・社会的な問題である特殊詐欺は、県下で383件と前年より増加しており、湖西署管内で4件発生している。被害総額は1億4千万円と件数に対して多く、非常に余談を許さない状況のため、対策を強化している。 ・湖西市内での補導件数は82件発生しており、内訳として喫煙60人、飲酒4件、深夜はいかい17件、無断外泊1件である。また今年は28件発生している。飲酒と喫煙の比率が高くなっているため指導をしていく。どの時代も飲酒や喫煙の補導は多いが、興味本位や不良気分を味わうなど軽い気持ちから薬物へつながってしまうことがあるため、若い世代から教えていかないといけない。 ・ここ数年大麻の検挙件数がかかなり増加している。初犯の割合が高く、10代20代の割合が高い。大麻に対して誤った知識が広まっているため、今後も学校などで薬物乱用教室等を行い、薬物の怖さを教えていきたい。 ・令和5年度特殊詐欺で検挙された人数2,455件のうち20歳未満の少年被疑者が431人と非常に多い。闇バイトには絶対に手を出してはいけないということを少年に教えていかないといけない。また社会全体で見守っていく必要がある。少年に限らず、特殊詐欺の被害が多いため、皆様も注意してほしい。様々な手口があるため興味があれば生活安全課へ連絡してほしい。また様々な場所での防犯講話などしているため、それも必要ならご連絡いただきたい。 <p>【市内小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月から学校が始まり、どの学校でも小1ギャップによる新1年生の登校への渋りが見られた。 ・スタートカリキュラムを行っており、スムーズに子どもたちが小学校に慣れるようにプログラムを取り組んでいる。今現在、元気に登校している様子が見受けられる。 ・いじめの認知件数は年々増えており、その都度、先生方が保護者と連携を取りながら解決していく方向である。 ・今年から「デイケン」という端末を使用して健康観察を兼ねて、心と体の様子を把握することを行っている。校長や教頭、管理職、養護教諭全員が見られるようになっているため、担任だけで抱え込まずに組織で取り組んでいる。 <p style="text-align: right;">(次頁につづく)</p>		

- ・特別支援学級が増加しており、先生方が特別支援に目を向けながら子どもが学校生活で安心して過ごせるようになっている証拠ではあるが、特別支援が必要となっている子どもが増えている証拠でもある。
- ・いじめのアンケートも端末で行なっているため、教職員で精査しながら認知を進めている。

【市内中学校】

- ・不登校の生徒数が増加傾向である。令和2年度と比較すると小中学校でおよそ2倍に増えており、コロナの影響もあると言われているが、大きな問題だと感じる。主な理由として、無気力や不安という点が多くなっているが、様々なことが複合的に絡み合っているケースが多くなっているため、原因把握が難しい現状である。
- ・小学校と同じように「デイケン」を活用しており、色のついたデータが見えるようになっており教諭がすぐに動き、それぞれのケースに応じて教員や担当の人が話を聞くことができるようにしている。
- ・校内教育支援センターが今年、鷺津中学校、岡崎中学校、新居中学校に配置された。支援員が配置されており、校内でどのような取り組みをしていくか3つの学校の方向性を見ていくことが重要であり、まだ立ち上げたばかりのため今後の活用についても課題である。夏を超えるとまた違う表れも出てくることが考えられるため、情報共有しながら進めていきたい。

【市内高等学校】

- ・生徒指導案件として、警察署から言われたとおり飲酒と喫煙が多い。また最近ではネット関係も多くなっている。進路が決まってくる秋以降から少しずつ気持ちが緩んできて11月12月1月と多くなってくる。例年同じような状況である。
- ・補導報告分析において、令和6年度は令和5年度に比べて若干減少した。男子はどの学年でも飲酒・喫煙が上位であり、1年生でネット関係が1位であった。また女子1年生・2年生でもネット関係が上位を占めていた。どの高校でもSNSを通じたいじめ的内容（固有名詞をあげたり、他人の写真をいじったりするなど）が少し増えている。
- ・年度別事故報告件数では、総合計328件中317件が自転車によるもので、4月5月の朝が非常に多い。また交差点からの飛び出し事故が多いため、自転車に乗る際にヘルメットを着用するように指導していきたい。

【その他団体代表】

- ・現在1対1で対象者に対応しているが、今後複数の保護司が1人の対象者に対応する形に変えていこうとなっているが、なり手不足の中でさらに活動が大変になるのではないかと心配している。
- ・活動できる範囲の中で、高齢者や未就学の子ども、学校に行けていない子ども、生活困窮者の方まですべての方たちを担当地区ごとに見守りをして、話を聴いた内容は行政へつなぎ、解決に向けていけたらと考えている。
- ・地区によっては、夏祭りや納涼祭、ウォーキング大会、体育祭や文化祭を行っている地区もあり、地区で工夫した青少年の育成活動を行っている。
- ・あいさつ運動では、子どもたちみんな元気に挨拶を返してくれ、先生とも笑顔で話をしている子だと思ふ反面、何らかの問題を抱えている子もいるようである。潜在的な問題を抱えている子どもたちを見つけることはとても難しく、大変なことだと実感している。
- ・定期的に地域を見守ることで、子どもたちや地域の方々に、安心感を持っていただくことが大切だと思う。地道な活動の繰り返しだが、地域の子もたちが安心して過ごせるよう、子どもたちを見守り、積極的な声掛けを続けていきたい。
- ・生活安全課に協力し、普段の生活の中で挨拶や少年への声掛け、見守りなどを行っている。
- ・警察の方々や協力機関の方々だけでなく地域団体の皆様に感謝したい。命に関わることにまで携わってくれていることに大変と思う気持ちと地域で支えていかないといけないと思う。

[質疑は特になし]

【教育長より】

- ・それぞれの団体の皆様がそれぞれの立場でいろいろな工夫をして青少年を支えているとわかり、感謝申し上げます。
- ・子どもたちは失敗をして、成長をしていくものだと思う。中には大麻や闇バイトなどその失敗をすると駄目なものあり、そのような大きな失敗をする前に子どもが気づき、踏みとどまることができ
(次頁につづく)

るようになることが大事だと思う。それぞれの皆様が行っている地道な活動が子ども自身の気づきや成長につながっていくと思うので、引き続き頑張ってください、子どもたちの健全な成長につなげていっていただきたい。

- ・これからもよろしくお願ひしたい。

6. その他
特になし

7. 閉 会

以 上